

ぬく〜いおはなし

たろのえりまき

きたむら えり さく・え 福音館書店 Eーキ

こぐまのたろは、ひつじさんにもらったけをあかいいろにそめたけいとで、おかあさんにえりまきをあんでもらいました。ところが、たろがうさぎのなーちゃんとそりすべりをしていると、つよいかぜがふいてきて、えりまきがふきとばされてしまいます。たろとなーちゃんはいそいでおいかけますが、えりまきはやまのむこうにみえなくなってしまうました。

ちょろりんのすてきなセーター

降矢 なな さく・え 福音館書店 Eーフ

さむがりやのとかげのちょろりんは、おどおりのようひんてんにかざってあるあたたかそうにふくらんだセーターをみて、ほしくてたまらなくなります。でも、かあさんもとうさんもセーターなんかいらなないといひます。そこで、ちょろりんはセーターをかうおかねをためるために、ランプづくりをしているじいちゃんのしごとをてつだひます。

ジェインのもうふ

アーサー＝ミラー 作 厨川 圭子 訳 偕成社 933ーミ

あかちゃんのジェインは、あさ^め目をさますとまっさきにピンクのもうふにさわってみまひす。ジェインはふわふわしてあつたかい、このピンクのもうふがだいすきでした。このもうふがあれば、ジェインはごきげんで、おあそびしてあるときも、おひるねのときも、ごはんをたべるときもずっといっしょでした。でもジェインのせいがのびるにつれて、もうふはぼろぼろになつてまひまひます。

ふわふわふとん

カズコ・G・ストーン さく 福音館書店 Eース

やなぎむらのみんなは、おちばでつくつたやなぎハウスでふゆをすごしてまひまひました。でも、かぜのつよひにはすきまかぜがはいつてさむくなりまひます。かぜがきゆうにつめたくなつたあるひ、さむさでみんなはあさはやくめがさめてまひまひます。そこで、みんなで、おふとんをさがしにでかけることにまひまひました。

大きな森の小さな家

ローラ・インガルス・ワイルダー 作 恩地 三保子 訳 福音館書店 933-ワ

小さな女の子ローラは、北アメリカにある「大きな森」の丸太づくりの小さな家にとうさん、かあさん、ねえさんのメアリイ、赤ちゃんのキャリーと住んでいました。「大きな森」にある家はたった一軒でしたが、雪ときびしい寒さの中でも家の中は、あたたかく、ほんとうにいごちがよかったです。夜には、暖炉の火があかあかと燃え、寒さも闇もおそろしい動物も、家のなかにははいてこられません。

ふしぎな木の実の料理法

岡田 淳 作 理論社 913-オ

ある日、こそあどの森にすむスキッパーのところに木の実がはいた小包がとどきました。でも、手紙の文字が消えていて、料理の方法がわかりません。そこで、スキッパーはいろいろな料理をしっているというトマトさんをたずねます。トマトさんの家は、大きな湯わかしの形をしていて、そそぎ口の煙突からは、あたたかそうなゆげがたちのぼっていました。

絵で見るおふろの歴史

菊地 ひと美文・絵 講談社 E-キ

みなさんは、おふろに入るのは好きですか？わたしたちが当たり前のように入っているおふろにも、長い歴史があります。昔のおふろは、どんな形をしていて、どんな人が入っていたのでしょうか。歴史をたどってみましょう。